

ワークショップ「実践・本棚プロデュース！」

ワークショップ「実践本棚プロデュース！」では、グループごとに指定された場所（大学、デパート、空港、会社、公共図書館、レストラン、予備校、ホテルなど）に企画展示を行う本棚を設置するシミュレーションを行い、本棚のテーマ、設置場所の状況設定、並べる資料などについてイメージをまとめ、発表を行いました。

- 本棚の設置場所についてはスタッフが事前に指定しました。
- 資料の選定に関してはインターネットを、イメージ作成については模造紙、付箋紙を使用しました。
- 資料についてはタイトルに著者、出版社、発行年を可能な限り併記しましたが、複数の出版社から発行されている資料、シリーズ刊行の資料、雑誌などについては一部省略しています。

1 班「新入生の「知りたい！」に答えます！」

本棚のテーマ：「新入生の「知りたい！」に答えます！」

時期：春

場所：大学

講義棟・生協・図書館などへ行く中間点にある、ちょっとした通路スペースを想定。

あまり図書館に来ない学生にアプローチしたい。

主な利用者：入ったばかりの新入生対象。

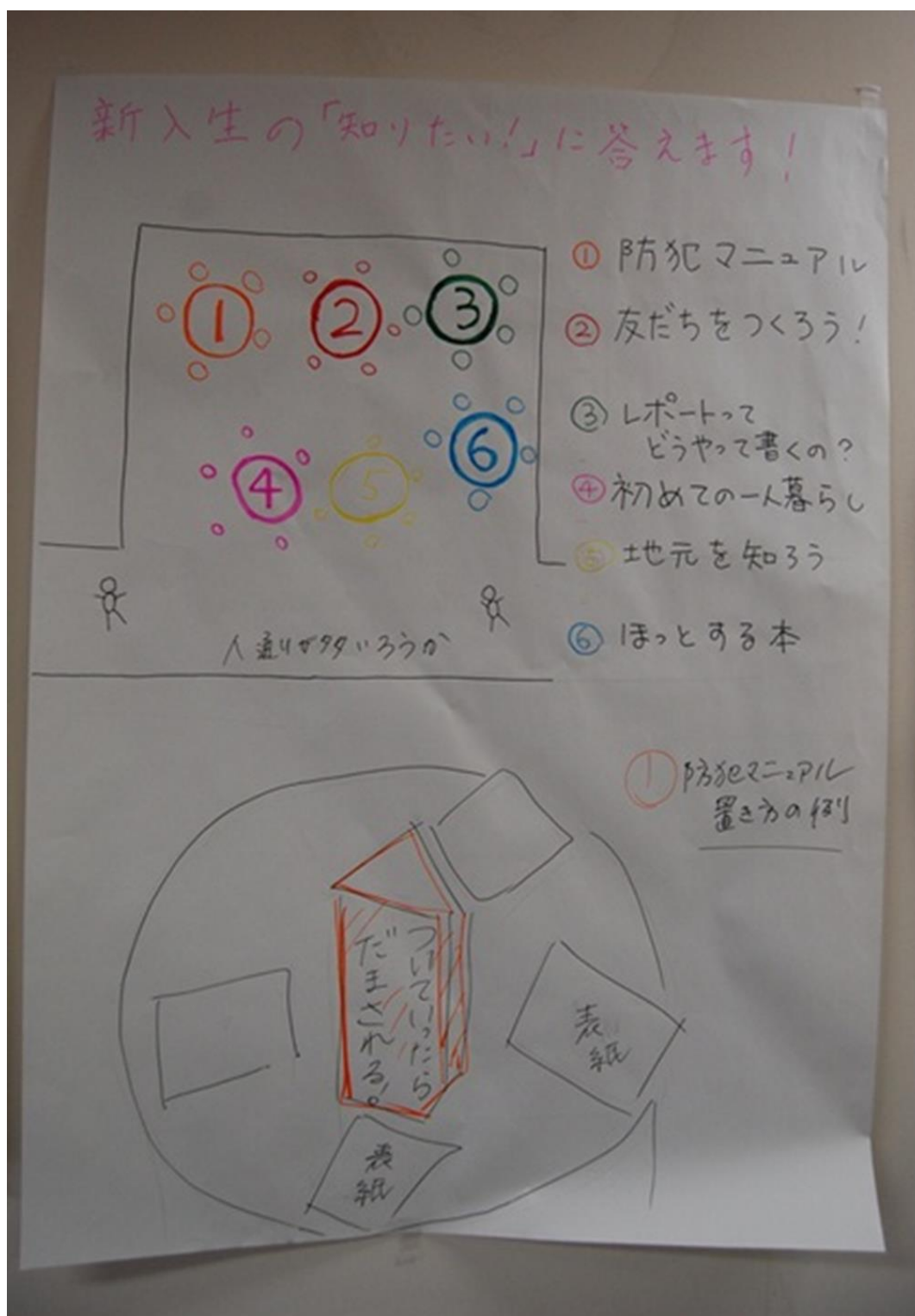
展示資料：書架を作らない。机に置いて並べる。

- ① 防犯マニュアル「ついていったら、だまされる」/多田文明著. --イースト・プレス, 2012. 7 など
- ② 友達をつくろう！「女性アナウンサーが教える好感度アップの 66 の法則」
/田中 未花著. --ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2009. 5 など
- ③ レポートってどうやって書くの？「日本語の作文技術」/本多勝一著など
- ④ 初めての一人暮らし「オレンジページ」--(株)オレンジページなど
- ⑤ 地元を知ろう
- ⑥ ほっとする本 写真集、楽になるひとこと

講評：（幅氏より）あえて「書架を作らない」発想がいい。

友達～のところには手を出しにくいので再考が必要

1班「新入生の「知りたい!」に答えます!」イメージ



2 班 「恋は嗅覚」

本棚のテーマ：「恋は嗅覚」

時期：1～2 月半ば

場所：デパート

S 市中心街 F サキ 1 階化粧品売場

主な利用者：20～50 代の女性がターゲット

バレンタインデーでチョコレートを買いに来ている人向けに、匂いを意識した本を届ける。

展示資料：

1 段目：いい女はいい匂い

「あなたはなぜあの人の「におい」に魅かれるのか」/レイチェル・ハーツ著；前田久仁子訳
—原書房, 2008. 5

「匂いのエロティシズム」/鈴木隆著—集英社, 2002. 2

「なぜ、その人に惹かれてしまうのか?—ヒトとしての恋愛学入門」/森川友義著
—ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2007. 5

「匂いの魔力 香りと匂いの文化誌」/アニックル・ゲレ著；今泉敦子訳—工作舎, 2000. 05

「『におい』と『香り』の正体」/外崎肇一著—青春出版社, 2004. 5 など

2 段目：香水 （実際の香水も置く）

「フォトグラフィー 香水の歴史」/ロジャ・ダブ著；新聞美也監修—原書房, 2010. 3

「カラー版ガラス工芸史」/中山公男著—美術出版社, 2000. 3

「香水瓶—古代からアールデコ、モードの時代まで」/由水常雄著—二玄社, 1995. 2 など

3 段目：香水の選び方

「世界香水ガイド☆1437—『匂いの帝王』が五つ星で評価する」/ルカ・トゥリンほか著
；芳山むつみ 訳—原書房, 2008. 12

「世界香水ガイドⅡ☆1885—『匂いの帝王』が五つ星で評価する」/ルカ・トゥリンほか著
；芳山むつみ 訳—原書房, 2010. 12

「香水のゴールデンルール」/新聞美也—原書房, 2010. 11 など

4 段目：読み物

「シャネル N° 5 の秘密」/ティラー マッツエオ著；大間知 知子訳—原書房, 2011. 03

「調香師の手帳—香りの世界をさぐる」/中村祥二著—朝日新聞出版, 2008. 12

「マリー・アントワネットの調香師—ジャン・ルイ・ファージョンの秘められた生涯」
/エリザベット・ド・フェドー 著；田村 愛訳—原書房, 2007. 9 など

講評：（伊藤氏より）帰ってさっそく真似させてもらう。

（幅氏より）以前本ににおいをつけておく、ということをやったことがある。

デパートの売り場の人を味方につけることが肝要。

2班「恋は嗅覚」イメージ



3班 「休憩中に読める本」

本棚のテーマ：「休憩中に読める本」

場所：空港

職員の休憩室に置く。棚は低め、座って目に入る位置。

展示資料：

1 段目：娯楽系

「まっふる」シリーズ―旺文社

「るるぶ」シリーズ―JTB パブリッシング

「地球の歩き方」シリーズ―地球の歩き方 T&E、雑誌など

2 段目：DVD, 小説

「TOKYO エアポート」/宇田 学ほか著―扶桑社, 2012. 12

「TOKYO エアポート―東京空港管制保安部」 DVD-BOX―ポニーキャニオン, 2013. 4

「クライマーズ・ハイ」/横山秀夫著―文芸春秋, 2003. 8 など

3 段目：専門書

「ガスタービンエンジン」/谷田好通ほか著―朝倉書店, 2001. 10

「失敗学のすすめ」/畑村洋太郎著―講談社

「最新内燃機関」/河野通方ほか著―朝倉書店, 1995. 6

「航空機事故に学ぶ 危険学の視点」/小林忍著―講談社, 2012. 6 など

朝早そうなので、その日の新聞なども書棚の横に置く

講評：（伊藤氏より）「墜落遺体 御巣鷹山の日航機 123 便」/飯塚 訓著―講談社, 2001. 4

は入れてほしい。

（幅氏より）休憩室、技術者向けという発想がいい。

事故の本は戒めになるのか、テンションが下がることになってしまうのか（笑）。

遠くに行く人達なので、近場の温泉情報などどうか

3班 「休憩中に読める本」イメージ



4 班 「想像力を育む書棚」

本棚のテーマ：「想像力を育む書棚」

場所：会社

高齢化社会と災害に強い社会を作る、東北で災害ロボット、介護ロボットを作る会社の休憩所

展示資料：ロボットを作るにあたって、参考になるもの、発想を豊かにするもの

デザイン系

「アップルのデザイン ジョブズは“究極”をどう生み出したのか」/日経デザイン

—日経 BP 社, 2012. 4

「ハイパーアングルポーズ集」シリーズ /創美社編集部—創美社

今後ロボットが活躍する現場

「アンドロイドの脳—人工知能ロボット“ルーシー”を誕生させるまでの簡単な 20 のステップ」

/スティーヴ・グランド著；高橋則明訳—アスペクト, 2005. 2

「ロボット 21 世紀」/瀬名秀明著—文藝春秋, 2001. 7

「ロボットが日本を救う」/岸宣仁著—文藝春秋, 2011. 8

「鉄腕アトム」/手塚治虫

東北が抱える問題 高齢社会

「介護のイラスト—CD-ROM ブック」/MPC 編集部—エムピーシー, 2001. 2

「元気になる老人介護」/三好春樹著—PHP 研究所, 2011. 10

東北が抱える問題 災害

「災害とロボット」/井上猛雄著—オーム社, 2012. 4

「雪害 都市と地域の雪対策（近未来技術）」/沼野夏生著—森北出版, 1987. 2

ロボットの写真・絵

「レオナルド・ダ・ヴィンチ全絵画作品・素描集」/フランク・ツオルナー著—タッシェン, 2007. 11

「超接写—ロボットの機構」/城井田勝仁著—毎日コミュニケーションズ, 2008. 6

「未来のモノのデザイン」/ドナルド・A・ノーマン著；安村通晃ほか訳—新曜社, 2008. 10

発想力を豊かに

「ドラえもん」シリーズ/藤子・F・不二雄著—小学館

「ロボット (R. U. R)」/カレル・チャペック著；千野栄一訳—岩波書店, 2003. 3

「人が見た夢—ロボットが来た道—ギリシャ神話からアトム、そして…」/菅野重樹著

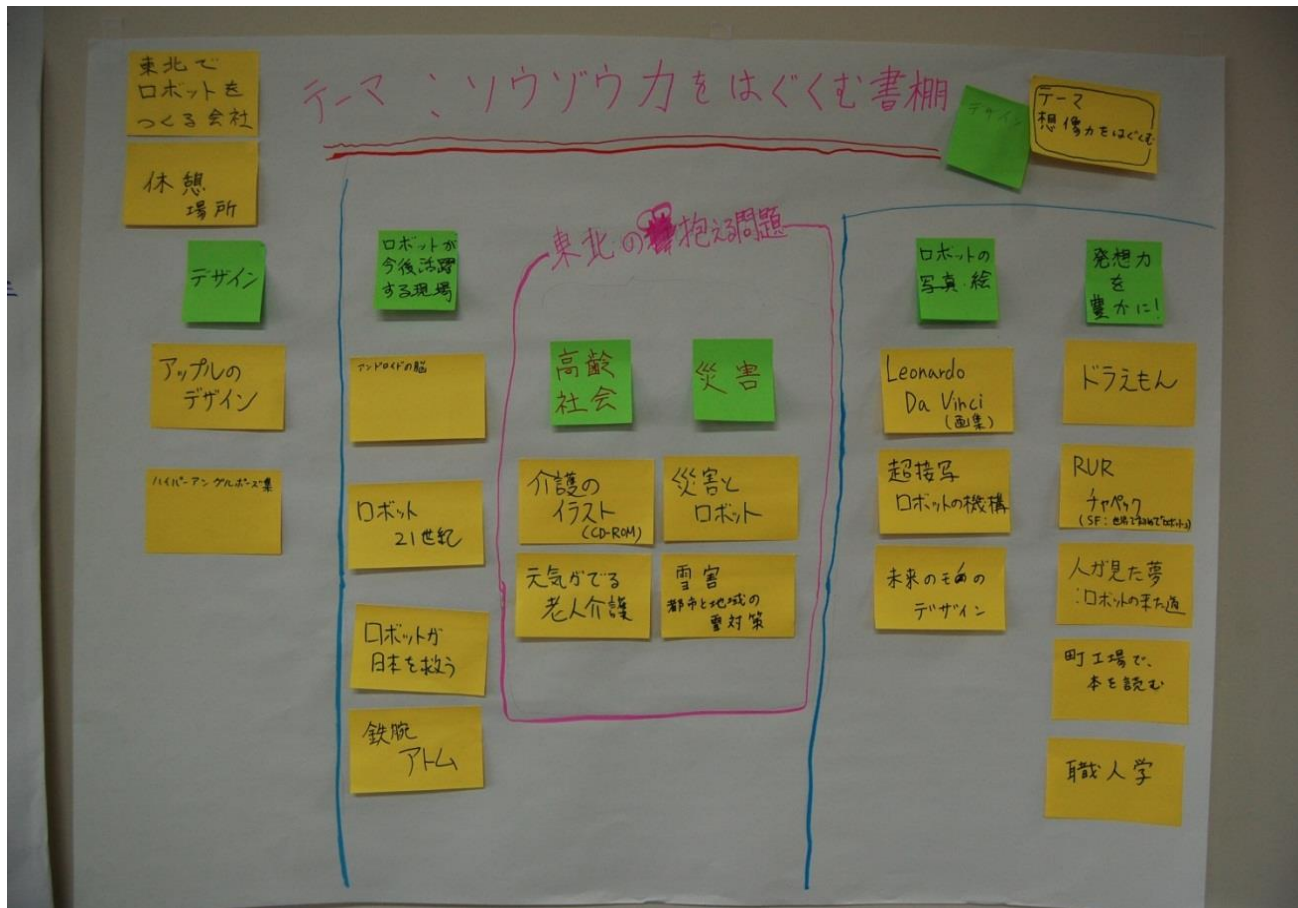
— JIPM ソリューション, 2011. 10

「町工場で、本を読む」/小関智弘著—現代書館, 2006. 11

「職人学」/小関智弘著—日本経済新聞出版社, 2012. 9

講評：（幅氏より）作家は世間の空気に敏感な人達、最近介護小説は多い。

4 班「想像力をはぐくむ書棚」イメージ



5班 「移動図書館 今月のオススメ 宮澤賢治」

本棚のテーマ：「移動図書館 今月のオススメ 宮澤賢治」

場所：公共図書館 田舎のあまり交通手段のないところの「移動図書館」

展示資料：今月の作家という企画で宮澤賢治を取り上げる。

子どもと高齢者の世代を繋げつつ、日常から1歩踏み出す

農業関連「現代農業」―農山漁村文化協会など

賢治の生い立ち関連 「注文の多い料理店」/宮澤賢治を中心に 岩手の本、鉱物図鑑など

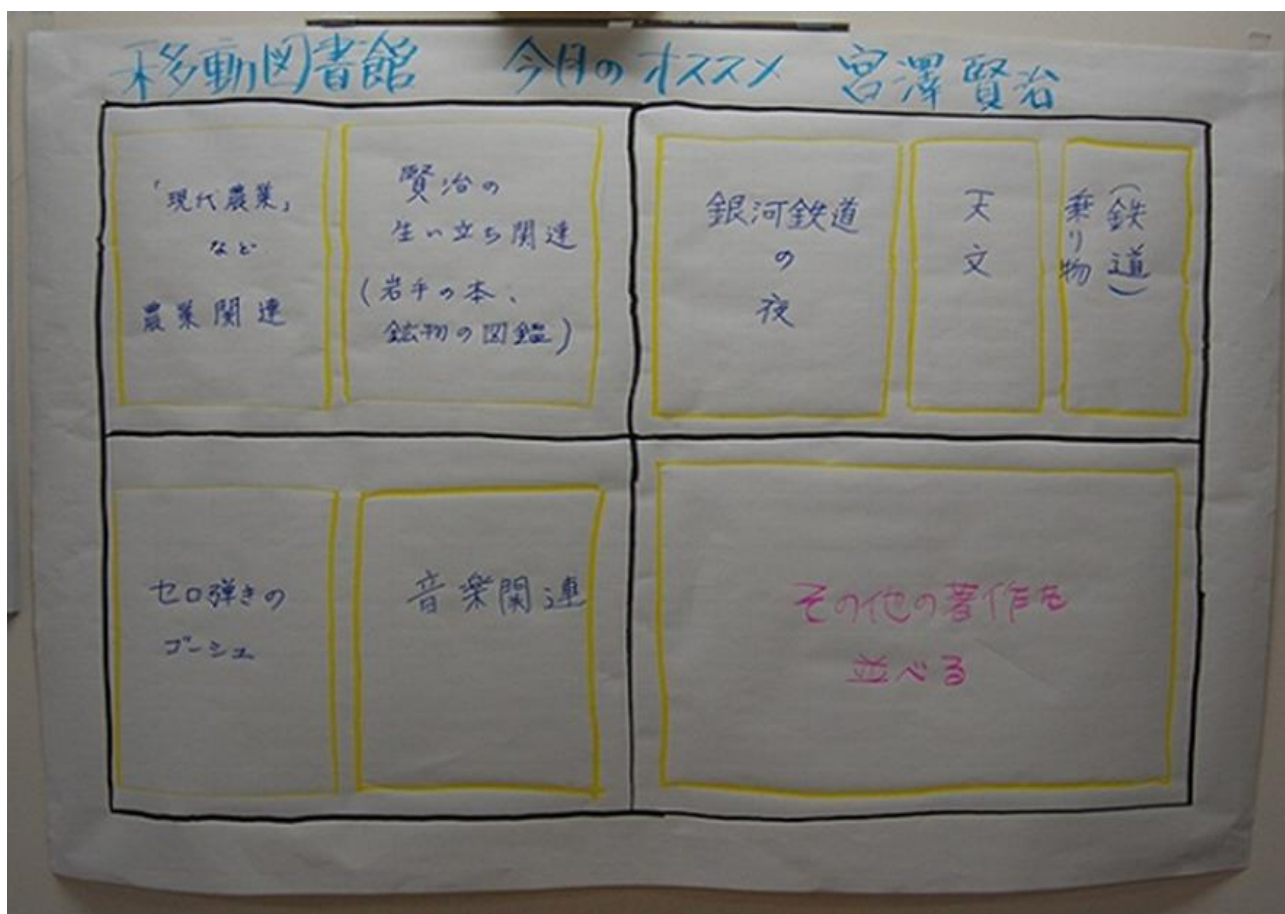
音楽関連「セロ弾きのゴーシュ」/宮澤賢治著を中心に

天文・乗り物（鉄道）関連「銀河鉄道の夜」/宮澤賢治を中心に

その他の宮澤賢治の著作も並べる

講評：（幅氏より）ググループを回っていた時は全然違う内容だったので、移動図書館はびっくりした。動き続けることで面白さは絶対に出る

5班「移動図書館 今月のオススメ 宮澤賢治」 イメージ



6班 「ブックバー ぶっくばあ」

本棚のテーマ：「ブックバー ぶっくばあ」

場所：レストラン

郊外のファミリーレストラン、店の中央に、並びもサラダバーっぽく並べる。

主な利用者：ママ友と一緒に訪れる、未就学児童を連れてきたお母さん方

展示資料：「ブックバー」ドリンクバー、サラダバーなどにひっかけて

下段 子どもたち用の本 食育。本を読んで落ち着かせ、うろちょろさせない。

絵本「ぐりとぐら」/なかがわりえこ著；おおむらゆりこ絵—福音館書店, 1967. 1

「たべものだーれ？」よねづゆうすけ著—講談社, 2012. 4

「やさいだいすき」/柳原良平著—こぐま社, 2004. 6

「にんじん」/せなけいこ著—福音館書店, 1969. 11

「はらぺこあおむし/エリック・カール著；もりひさし訳—偕成社, 1989. 2

「お野菜戦争」/デハラユキノリ著—長崎出版, 2006. 7

「ミッケ」シリーズ/ジーン・マルゾーロ著；糸井重里訳；ウォルター・ウィック写真
—小学館

とびだししかけ絵本「不思議の国のアリス」/ロバート・サブダ 著—大日本絵画, 2004. 11

テーブルから本を取りに行く道のりを足跡で示す。

色の違うバスケットに入れる。

子どもにとってバランスよく本が読めるような選書になればいい。

上段 お母さん用の本

育児「子どもへのまなざし」/佐々木正美著；山脇百合子画—福音館書店, 1998. 7

「続 子どもへのまなざし」/佐々木正美著；山脇百合子画—福音館書店, 2001. 2

「完 子どもへのまなざし」/佐々木正美著；山脇百合子画—福音館書店, 2011. 1

「子どもは好きに育てていい—『親の教育権』」—日本放送出版協会, 2008. 5

「世界一ぜいたくな子育て—欲張り世代の各国「母親」事情」/ 長坂道子著—光文社, 2005. 5

流行「八重の桜 ー」/山本むつみ著— NH 出版, 2012. 11

「永遠の0」/百田尚樹著—講談社, 2009. 7

「ビブリア古書堂の事件手帳」シリーズ/三上延著—アスキー・メディアワークス

美容「ロングブレス」（ダイエット系）

「毒を出す食ためる食 食べてカラダをキレイにする40の法則」/蓮村誠著

—PHP 研究所, 2008. 12

「Life1 なんでもない日、おめでとう！のごはん」/飯島奈美著-東京系井重里事務所, 2009. 3

「Life2 なんでもない日、おめでとう！のごはん」/飯島奈美著-東京系井重里事務所, 2009. 12

「Life3 なんでもない日、おめでとう！のごはん」/飯島奈美著-東京系井重里事務所, 2011. 4

「たまごクラブ」--ベネッセコーポレーション

「自分ごはん レタスクラブムック60161-61」--角川マーケティング
(角川グループパブリッシング), 2011. 3

「オレンジページ」--(株)オレンジページ

講評: (伊藤さんより) 西原理恵子さんの「ああ息子」--毎日新聞社, 2005. 12、「ああ娘」--毎日新聞社, 2006. 11 はいれてほしい

(幅氏より) アイディア発で終わっていないのがいい。人の動きまでイメージしているのが素晴らしい。

6班「ブックバー ぶっくばあ」



7班 「ㄗ」

本棚のテーマ：「ㄗ」（左下から右上にカーブを描いた矢印）

場所：予備校 駅前にある総合予備校のラウンジ・休憩室

主な利用者：予備校生とその送迎をする保護者

展示資料：

- ① ホップ 大学に入るまで 短い本，手軽に読める名言集とか写真集。

「男子」/梅佳代--リトル・モア, 2007. 7 など

- ② ステップ 受験生が大学に入った後に希望が持てるような本

「ドラゴン桜」シリーズ/三田紀房著--講談社

「東京大学物語」シリーズ/江川 達也--小学館

大学パンフレット、「レポートの書き方」など

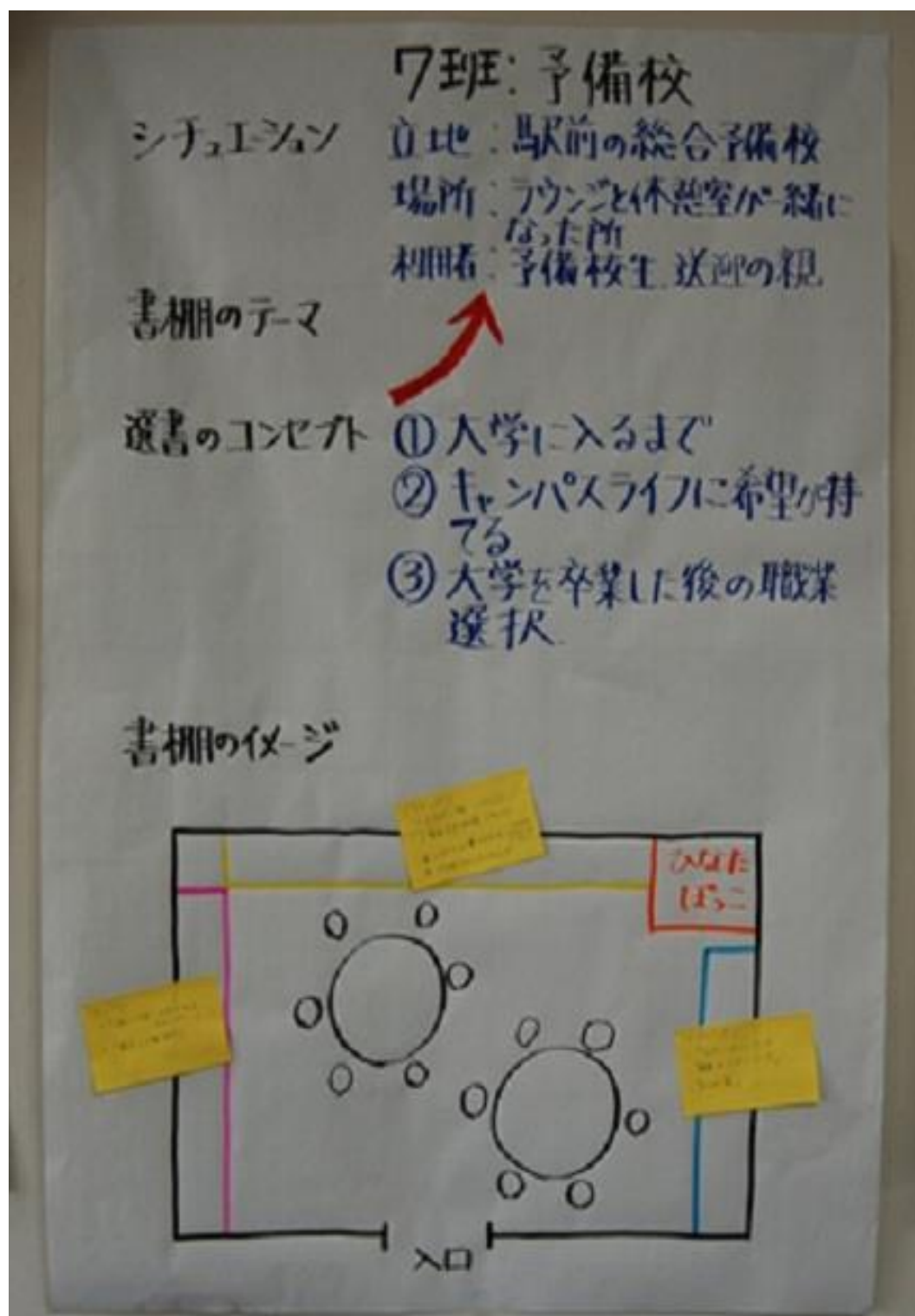
- ③ ジャンプ 大学を卒業した後にも希望が持てるような本

「なるには BOOKS」シリーズ-ペリかん社

「13 歳のハローワーク」/村上龍--幻冬舎, 2003. 12

「まんが道」/藤子不二雄 A 著

講評：（幅氏より）予備校の機能を細分化していて理詰めで良かった。実際の。



8班 「家族で仙台街歩き！！」

本棚のテーマ：「家族で仙台街歩き！！」

場所：ホテル 仙台の繁華街のホテル、1階のフロント脇に、腰の高さぐらいの棚。

展示資料：棚の上の壁に仙台の今の地図と、昔の地図を貼る。

棚の上は図版など、開いてもらえるもの。むすび丸のぬいぐるみも。

上段：歴史関係

「忘れかけの街・仙台―昭和40年頃、そして今」―新報出版センター, 2005. 4

「奥州三十三観音の旅」―河北新報総合サービス, 2001. 1

「仙台藩ものがたり」―河北新報総合サービス, 2002. 6

「みやぎ地名の旅」/太宰幸子著―河北新報出版センター, 2011. 2

お店マップなども

下段：子どものコーナー

とよたかずひこ（仙台市出身の絵本作家）の絵本

「ジュニア版―支倉常長」―仙台市博物館, 2003. 3

「（戦国）BASARA」など

街歩きガイド（誰でも手に取るのであえて下に）

「寄り道・道草仙台まち歩き」/西大立目祥子著―河北新報出版センター, 2010. 3

「せんだいタウン情報 S-style」―(株)プレスアート

「KAPPO 仙台闊歩」―(株)プレスアート

「仙台のカフェ」―(株)プレスアート

「LET'S みやぎ―35市町村の祭りイベント年鑑」―河北新報出版センター

「ことりっぷ―仙台 松島・平泉」―昭文社

「るるぶ―仙台 松島 宮城」―JTB パブリッシング

足元：宮城ゆかりの作家の著作（伊坂幸太郎、恩田陸、佐藤賢一、熊谷達也など）

他：旅の思い出 お土産のこけしも

「お菓子放浪記」/西村滋著―講談社, 2005. 7

隠れスイーツガイド（ホテル従業員おすすめ）

講評：（幅氏より）明日からできそう。るるぶを下げたところがいい。

8班「家族で仙台街歩き！！」イメージ

